

全体	16
個別	03-01

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	ウィズコロナ・アフターコロナにおける観光客受入体制の整備
1	【内容】	<p>金田城の日本最強の城選定（NHK）や世界ふしぎ発見（TBS）の放映、世界的大ヒットとなったゲーム「ゴースト オブ ツシマ」の効果等により、国内はもとより世界的に対馬の認知度が上がり、コロナ禍にあっても来島意欲の高まりが見受けられます。</p> <p>また、コロナ鎮静化後には、GOTOキャンペーンやしま旅商品の再開により、少なからず観光客の戻りが予想され、特に若い世代の個人客の来島が予想されるようです。</p> <p>この機を逃さず、対馬の魅力を最大限感じていただき、再び訪れていただけるような多様な観光コンテンツの造成、おもてなし環境の整備を図ります。</p>
組織目標	【指標】	<p>①金田城を核とした観光活用連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用連携プロジェクト委員会の開催（2回） ・トイレカー導入（1台）、AR等視覚的コンテンツ作成（3箇所） <p>②アウトドアコンテンツの開発・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用特設サイト動画チャンネル等での配信 ・アウトドアイベント、スタディツアーの実施 <p>③おもてなし協議会による受入体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間連携体制構築（WS 3回開催）、パンフレット作成 ・観光客満足度調査による検証、セミナーの開催（2回） <p>④ガイド養成事業による「まちあるきガイド」養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座の開催（10回）、ハンドブック作成 ・バスガイド運用システム構築に向けた調整
2	実績（成果）	<p>① ・トイレカー1台を3月末に購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田城のジオラマ1基及び歴史解説アニメーション全8話をARで制作し3月末から運用を開始 ・金田城の主要スポット8か所を俯瞰及び目線の視点でVRにより再現し3月末からWEBにより公開 <p>② ・動画3本（白嶽、城山、シーカヤック）及び九州地方TV局による番組を配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子向けアウトドアイベントを10月、11月に実施（4家族12名） <p>③ ・観光関係事業者間のワークショップ3回、宿泊事業者向けセミナー2回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット 5,000部作成 ・観光客満足度調査を1,315件実施 <p>④ ・養成講座16回開催・ハンドブック（対馬の自然版）200部作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスガイド運用システム構築に向けた関係事業者7社と協議を実施
3	評価	<p>AR及びVRの整備により金田城の魅力が深まったとともに、トイレカーの導入により登山しやすい受入体制が整備できたことで、対馬特有の観光資源の磨き上げを実施した。</p> <p>◎</p> <p>コロナ禍にありながらもアウトドアのイベントの開催、TVによる情報発信が行えたことに加え、動画配信では約18万回視聴され、対馬のアウトドアの魅力を更に高めることが出来た。また、おもてなし協議会による各種事業及びガイド養成事業が計画的に展開できたことで、受入体制の強化につながりました。</p>
4	今後の展開	<p>観光のニーズは多様化しており、単なる物見遊山から金田城などの歴史や自然、トレッキング、食など複数のコンテンツを組み合わせた対馬でしか味わうことのできない観光コンテンツを今後、創出して行く必要がある。また、おもてなしをはじめガイドなどによる満足度の高い観光へと転換をすることで、「観光消費額の増加」、「観光満足度の向上」による来訪者一人一人の観光の質を高めていきます。</p>

全体	17
個別	03-02

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	誘客多角化に向けた準備
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>年間41万人を数えた韓国人観光客は、日韓関係悪化に加え新型コロナ蔓延による航路運休を受け皆無となり、依存度が高かった分、市内観光産業への影響は大であります。韓国人観光客へ依存しすぎた反省に立ち、台湾、中国、欧米豪といったその他のインバウンド誘致を図るとともに、ワーケーション・スポーツ合宿といったこれまで本市になかった切り口での誘客を推進し、観光客の多角化を図り、リスクの分散化を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド多角化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への訪問、旅行博等への出展 ○対馬を舞台にした作品等を活用した情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・PRサイト及びSNSでの情報発信 ○ワーケーション誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> ・社労士法人との協働による事業へのアプローチ ・対馬でのオフサイト研修ファムトリップの実施（5社） ○スポーツ合宿、文化芸術合宿誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の実施（2団体） ・文化芸術合宿の実施（1団体） ○チャーター便誘致推進調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・課題把握及びニーズ調査、給油体制及び旋回帯整備に向けた調査
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド多角化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により台湾、香港、欧米への誘致が実施できなかった。 ○対馬を舞台にした作品等を活用した情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・PRサイトのアップデートを実施 ○ワーケーション誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> ・社会労務士法人と連携し、ワーケーションに向けたニーズ調査を実施 ・福岡市の5社15名にファムトリップを実施 ・誘致パンフの作成（500部） ○スポーツ合宿、文化芸術合宿誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチバレーボール合宿（2団体）34名（68人泊） ・福岡フルートコンソート合宿（1団体）20名（40人泊） ○チャーター便誘致推進調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者からソフト面の調査及び輸送関係からのハード面調査を実施 ・観光事業者のファムトリップ（7名）
3	評価	<p>○</p> <p>インバウンドは、コロナ禍により、国内外の制限もあり、事業着手のタイミングを検討したものの、展開ができなかった。ワーケーション誘致は、単なるワーケーションから対馬の自然や環境など課題を体験する「対馬タイプのワーケーション」の必要性を確認することができた。スポーツ合宿、文化芸術合宿誘致は、誘致成功により、次年度の開催につながる成果を得た。チャーター便誘致推進では、送客側、受入側の課題等の把握に止まりましたが、送客側と次年度以降も更なる運行に係る連携強化の確認を行いました。</p>
4	今後の展開	<p>誘客多角化に向けては、対馬ならではの独特の歴史、文化、自然環境、農林水産業の観光資源を生かしたサービスを展開し、国内外を問わずコアなファンに自然や景観、文化などと体験を絡めたコンテンツ開発及びインバウンド層に向けた多言語対応、プロモーションを展開します。</p>

全体	18
個別	03-03

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	コロナ禍における市内経済の下支え事業の実施																													
1	組織目標	【内容】 新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の自粛傾向による減少に加え、市民の自粛傾向が長期間続き、宿泊事業者・飲食事業者をはじめ観光関係事業者は大きな影響を受け、雇用の安定や事業継続が難しい状況となっています。 雇用環境の崩壊と市内経済の地盤沈下を最小限にするため市内消費喚起策及び事業支援を時期を見極めて実施し、市内経済の下支えをするとともに、アフターコロナの観光客の戻りに備えた事業の存続を図ります。																													
		【指標】 ○市内経済活性化事業 ・市内消費喚起策の検討と実施 ○事業者経営支援事業 ・コロナ対策協力金の支給 ・緊急一時支援金の支給 ・その他国及び県の支援事業の実施と広報																													
2	実績（成果）	○市内経済活性化事業 ・対馬藩札事業 1泊5,000円の電子クーポンを発行 期間 令和3年7月1日～令和4年1月24日(8/10から9/24まで事業停止) 交付 21,270人泊分 ○事業者経営支援事業 ・新型コロナウイルス対策営業時間短縮協力金(第1期～第5期)(飲食店)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>期別</th> <th>要請期間</th> <th>支給件数</th> <th>協力金</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>令和3年8月10日～令和3年8月23日</td> <td>186件</td> <td>68,264千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>令和3年8月24日～令和3年9月6日</td> <td>183件</td> <td>66,598千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>令和3年9月7日～令和3年9月12日</td> <td>182件</td> <td>28,014千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4期</td> <td>令和4年1月28日～令和4年2月13日</td> <td>169件</td> <td>95,795千円</td> <td>R4事業繰越</td> </tr> <tr> <td>第5期</td> <td>令和4年2月14日～令和4年3月6日</td> <td>65件</td> <td>42,042千円</td> <td>R4事業繰越</td> </tr> </tbody> </table> ・商工業者等一時支援金 支援額 44,190千円 支給件数 165件(宿泊・交通・飲食・小売・卸売等) ・対馬市観光業新型コロナウイルス感染症対策協力金給付 給付額 39,650千円 支給件数 304件(宿泊・交通・飲食・土産品小売・体験事 ・飲食店認証制度認証推進協力金 協力金 9,000千円 支給件数 62件(飲食店) ・事業継続支援金 支援金 8,599千円 支給件数 64件(小売・サービス・製造等)	期別	要請期間	支給件数	協力金	備考	第1期	令和3年8月10日～令和3年8月23日	186件	68,264千円		第2期	令和3年8月24日～令和3年9月6日	183件	66,598千円		第3期	令和3年9月7日～令和3年9月12日	182件	28,014千円		第4期	令和4年1月28日～令和4年2月13日	169件	95,795千円	R4事業繰越	第5期	令和4年2月14日～令和4年3月6日	65件	42,042千円
期別	要請期間	支給件数	協力金	備考																											
第1期	令和3年8月10日～令和3年8月23日	186件	68,264千円																												
第2期	令和3年8月24日～令和3年9月6日	183件	66,598千円																												
第3期	令和3年9月7日～令和3年9月12日	182件	28,014千円																												
第4期	令和4年1月28日～令和4年2月13日	169件	95,795千円	R4事業繰越																											
第5期	令和4年2月14日～令和4年3月6日	65件	42,042千円	R4事業繰越																											
3	評価	電子クーポン「対馬藩札事業」は、宿泊事業者、飲食事業者等のキャンセルに対する意識改革に繋がったとともに、市内経済の下支えに寄与した。また、協力金、支援金の支給により事業者の事業継続を行った。																													
		飲食店認証制度認証推進協力金は、新型コロナウイルス感染防止に対応した認証店が島内全域に広がり、事業者及び利用者双方において、安心できる環境を整えることができ、効果が認められました。																													
4	今後の展開	全国、県内及び市内の新型コロナウイルス感染状況により、市内経済に影響を及ぼす状況を見極めながら必要に応じ、事業継続、場合においては雇用確保など事業者に対する支援を展開します。また、ウィズコロナ、アフターコロナに対応した事業を取り入れ、市内経済の循環を促します。																													

全体	19
個別	03-04

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	文化 交 流 課
-----	----------

区分	項目	国内外の交流促進
1	組織目標	【 内 容 】 ①朝鮮通信使歴史館の完成を目指します。 ②新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、可能な国際交流事業の実施や国際交流イベントへの支援を行います。 ③国際交流・国際理解に関する市民対象の情報提供等を行います。 ④朝鮮通信使によるまちづくり事業として、朝鮮通信使関連商品の開発を行います。 【 指 標 】 ①朝鮮通信使歴史館の令和3年10月31日までの開館を目指し整備します。 ②対馬島内韓国文化体験ホームステイ事業を（対馬市内の小学生・中学・高校生を対象に10名程度）実施します。 ③韓国情報誌「つしま_しまいの_まがじん」を4回発行します。 ④朝鮮通信使関連商品の開発として、さつま芋を使ったスイーツを1品と朝鮮通信使をモチーフとした専用パッケージの制作を行います。
2		・朝鮮通信使歴史館を令和3年10月30日に開館しました。 ・3校の高校生を対象に韓国文化体験事業を実施しました。 ・市民向け韓国情報誌を4回発行しました。 ・さつま芋を使ったスイーツ2品と朝鮮通信使をモチーフとした専用パッケージを制作しました。
3	評価	○ 令和3年度も新型コロナウイルスの影響で市内で予定されていた国際交流イベントは中止となり、ホームステイも市内であっても他家に宿泊は難しいという理由で実施ができなくなったので、国際交流事業として高校生を対象とした韓国文化体験プログラムを企画し、3高校に実施を呼びかけたところ3校ともに協力を得られたため事業の実施ができました。また、市民向け韓国情報誌の発行については10月に新規の国際交流員が着任できたので4回の発行が実施できました。
4		朝鮮通信使に関する歴史、活動の学習に朝鮮通信使歴史館を活用して頂くよう各学校に働きかけます。 また、韓国文化体験は、引き続き3高校に呼びかけを実施します。
	今後の展開	

全体	20
個別	03-05

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	文化交流課
-----	-------

区分	項目	固有の遺跡や文化財の保存と活用
1	【内容】 日本遺産「国境の島」壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～の認定ストーリー及び構成遺産を市民へ周知し、観光産業への活用を推進します。	
組織目標	【指標】 ①市内の全中学生（724名）へ冊子「国境のひみつ」を配布 ②日本遺産まち歩きコースの設定・運用 ③日本遺産活用検討のための市民参加委員会の設置	
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の全中学生（724名分）と学校へ冊子「国境のひみつ」を配布しました。 ・日本遺産まち歩きコース、金石城跡～旧金石城庭園～万松院（三具足・宗家墓所）～朝鮮通信使歴史館のコースを設定し、まち歩き歴史講座を実施しました。 ・北部対馬地域の日本遺産活用を検討するため、日本遺産「国境の島」推進協議会対馬市部会上対馬ワーキング部会を設置しました。
3	評価	<p>○</p> <p>冊子「国境のひみつ」の配布については、市内全中学校のご協力により市内中学生全員に配布できました。</p> <p>日本遺産まち歩きコースの設定・運営については、朝鮮通信使歴史館の開館により朝鮮通信使に関連する構成遺産を巡回するコースを設定する事ができました。</p> <p>また、朝鮮通信使顕彰事業会の協力が得られたことにより歴史講座を実施することができました。</p>
4	今後の展開	博物館開館後は、博物館も含めた日本遺産まち歩きコースの設定を行い、設定したコースの観光客利用を増やすためPRを実施します。

全体	21
個別	03-06

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	博物館学芸課
-----	--------

区分	項目	対馬固有の自然、文化、芸術、歴史遺産等の活用
1 組織目標	【内容】 1 対馬博物館施設（交流ゾーン）建設工事を完了させます。 2 令和4年4月の開館に向け、対馬博物館ホームページや公式SNS、パンフレット等による博物館情報を市内外に発信するとともに、教育普及活動（ワークショップの開催等）による知名度の向上及び来場者の誘引を図ります。 【指標】 1 ①交流ゾーン建設工事の完了 2 ①対馬博物館ホームページや公式SNSを活用した情報発信 ・対馬博物館ホームページを活用した情報発信 ・公式SNSを活用した情報発信 ⇒ 79回 ②教育普及事業（ワークショップ等の開催） ・プロモーションイベント ⇒ 7回/150名 ・自然史イベント ⇒ 2回100名 ・考古イベント⇒2回/100名	
2 実績（成果）	1 1月末に設定していた工期が3月末まで延長され展示作業や事前準備の期間が圧縮されました。 2 ①令和2年度に開設した公式ウェブサイトやSNSによる情報発信を強化しました。 ・対馬博物館ホームページを活用した情報発信 記事の更新7回 ・SNSを活用した情報発信：のべ96回 ②教育普及事業（ワークショップ等の開催）は新型コロナウイルス感染症の拡大により目標回数を実施できませんでした。 ・プロモーションイベント ⇒ プロモーション動画制作に変更しました。 ・自然史イベント ⇒ 1回/会場参加31名、オンライン参加39名 ・考古イベント⇒ 開催出来ませんでした。	
3 評価	△	1月末の予定だった工期が3月末まで延長され、開館準備期間が短縮される結果となりました。 公式ウェブサイトが開館に向けたイベントPR、募集告知を行うとともに、公式SNSでは修学旅行などによる博物館の利用や来館の様子を紹介し、情報発信の強化につなげました。 教育普及事業は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標回数を達成する事ができず、一部の事業を動画制作に変更しました。
4 今後の展開		博物館の開館を4月30日に控え、短縮された準備期間で展示業務や維持管理に係る入札契約業務等を進めるとともに、教育普及事業やギャラリーでの企画展により島内外の各種団体の利用を促進します。

全体	22
個別	03-07

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	福岡事務所
-----	-------

区分	項目	よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の発信
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>対馬の観光、物産情報を発信するため、次の事業を行います。</p> <p>①ラジオ番組による、対馬観光体験の連続放送</p> <p>②対馬島”窓会（どうそうかい）の開催</p> <p>③メディアを活用した情報発信</p> <p>【指標】</p> <p>メディア（TV、ラジオ、情報誌等）発信件数：令和3年度延べ12回</p>
2		<p>①ラジオ番組による、対馬観光体験の連続放送</p> <p>令和3年9月28日～11月23日（毎週火曜日、5分間、計9回放送）</p> <p>②対馬島”窓会（どうそうかい）の開催</p> <p>令和4年2月26日（土）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延防止期間となったため、開催を中止しました。</p> <p>③メディアを活用した情報発信</p> <p>ラジオ（よりあい処つしまの告知）：生中継4回、スポットCM3回（50本）</p>
3	評価	<p>ラジオ番組による連続放送は、よりあい処つしまと対馬のアウトドアをテーマに計画どおり放送しました。</p> <p>対馬島”窓会は、福岡市内のレストランを貸し切り対馬産品を活用しての情報発信を令和4年2月26日実施で計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止期間となったため、中止しました。</p> <p>メディアを活用した情報発信は、よりあい処つしまのフェアの告知と旬の対馬産品情報をラジオスポットCMで発信しました。</p>
4		<p>ラジオ番組による連続放送は、引き続きテーマを変えて実施します。</p> <p>対馬島”窓会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態又は蔓延防止措置期間においても開催できる方法を検討し、新たな方法で開催します。</p> <p>メディアを活用した情報発信は、これまでの取り組みを継続するとともに、よりあい処つしまや対馬の観光・物産情報を題材として取り上げてもらえるよう、メディアへの情報提供を強化します。</p>
	今後の展開	

全体	23
個別	03-08

令和3年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	福岡事務所
-----	-------

区分	項目	対馬産品を取扱う島外の飲食店・販売店への営業、広報活動の促進
1	【内容】 福岡市及び福岡都市圏において、対馬産品を取り扱う事業者または対馬の情報発信に協力していただける事業者を、サポートショップとして認定する制度を再検討し、対馬産品の販路拡大と対馬の認知度向上を目指します。	
組織目標	【指標】 サポートショップの認定数：令和3年度末 30件	
2		<ul style="list-style-type: none"> サポートショップの認定数：令和3年度末 25件 サポートショップ制度の再検討：令和3年9月1日要綱整備
実績（成果）		
3		サポートショップ制度の再検討は予定どおりに完了しましたが、全てが旧制度からの継続認定で、認定数を増加させることができませんでした。
評価	△	
4		サポートショップ新規認定の対象となる事業者情報の収集と対象事業者への訪問を行い、サポートショップの認定数を増加させます。 また、この事業を継続、発展させていく新たな取り組みについて、サポートショップの意見を聞きながら組み立てます。
今後の展開		